



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 修次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 中川 雅寛 (TEL) 03(5962)1119
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	77,903	△5.0	5,230	△11.0	5,401	△10.7	3,674	△7.6
29年2月期第3四半期	81,970	8.1	5,877	41.7	6,049	41.3	3,978	55.1

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 3,981百万円 (△2.5%) 29年2月期第3四半期 4,085百万円 (59.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	66.05	—
29年2月期第3四半期	71.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	69,920	37,034	52.9
29年2月期	72,361	35,268	48.7

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 37,015百万円 29年2月期 35,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期（予想）	—	—	—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年2月期の年間配当金には、通期連結決算における売上高および各利益の過去最高額の更新にともなう記念配当2円が含まれております。

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.8	8,100	6.5	8,250	5.6	5,600	10.7	100.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、(株) テスコがシンメンテホールディングス(株)（旧社名：シンプロメンテ(株)）との間で締結した株式交換契約に基づき、平成29年9月1日付で株式交換を行ったことから、(株) テスコを連結の範囲から除外しております。

また第1四半期連結会計期間より、平成28年11月に設立し平成29年1月に営業を開始した農得空間設計諮詢（上海）有限公司および平成29年5月に設立した(株) TNPを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	59,948,294株	29年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	4,316,172株	29年2月期	4,316,172株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	55,632,122株	29年2月期3Q	55,632,192株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況	11
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注高および売上高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	81,970	77,903	△4,067	△5.0
営業利益	5,877	5,230	△646	△11.0
経常利益	6,049	5,401	△647	△10.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,978	3,674	△303	△7.6

当第3四半期連結累計期間（平成29年3月1日～平成29年11月30日）のわが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな景気回復傾向にあるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、エンドユーザーの視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化の追求に向けて、中期経営計画に則り、時代の変化の中で生まれる新たなニーズをとらえたサービスの提供を目指すとともに、少子高齢化・人口減少の影響と消費者・生活者の変化を積極的契機ととらえ、インバウンド、観光文化、地域創生等のテーマについて、グローバル企業を含めた顧客の開発と深耕、プロジェクト開発を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は779億3百万円（前年同期比5.0%減）となり、大型プロジェクトのあった前年同期を下回ることとなりました。利益面におきましては、売上高の減少により営業利益は52億30百万円（前年同期比11.0%減）、経常利益は54億1百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

また、事業構造改善費用等の特別損失を計上しましたが、平成29年4月27日付で当社の連結子会社であった㈱テスコがシンメンテホールディングス㈱（旧社名：シンプロメンテ㈱）との間で株式交換契約（以下、「本株式交換」という。）を締結し、平成29年9月1日付で本株式交換が完了したことにもない、法人税等を戻し入れたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億74百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

なお、㈱テスコは平成29年9月1日付で当社の連結子会社から除外しております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

商業施設の再開発など、環境工事を多数手掛けた複合商業施設市場や東京モーターショーなどを手掛けた広報・販売促進市場が増加しましたが、余暇施設市場や前年同期に大型プロジェクトのあったその他市場などが前年同期を下回ることとなりました。

その結果、売上高は757億48百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は50億88百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	飲食やスポーツブランドショップ、宝飾関連店舗、大型書店などの内装制作等	29,222	27,985	△1,237	△4.2
百貨店・量販店市場	首都圏における百貨店の店舗や環境整備工事等	3,689	3,902	212	5.8
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	首都圏や関西圏の複合商業施設における環境整備工事等	8,084	10,293	2,208	27.3
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	自動車メーカーや電機メーカーの展示会のほか、住宅関連企業のショールーム等	12,615	13,165	550	4.4
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	文化や歴史に関する施設の展示制作、指定管理者制度(注)にもとづく施設の管理・運営等	5,898	5,480	△418	△7.1
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテイメント施設、動物園、水族館等)	ホテルや水族館のリニューアル、大型テーマパークの装飾等	7,143	5,403	△1,739	△24.4
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	1,170	338	△831	△71.1
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	保育園や空港関連施設、オフィスの内装制作等	12,233	9,180	△3,053	△25.0
ディスプレイ事業		80,057	75,748	△4,308	△5.4

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることのできる制度。平成15年9月より施行されています。

②飲食・物販事業

博物館や科学館などのミュージアムショップや商業施設における飲食店・物販店の運営業務等を手掛け、売上高は21億54百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は1億86百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は699億20百万円(前連結会計年度末比24億40百万円減)、負債は328億86百万円(前連結会計年度末比42億7百万円減)、純資産は370億34百万円(前連結会計年度末比17億66百万円増)となりました。

総資産は、現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したことにより減少しております。

負債は、支払手形及び買掛金が減少したことにより減少しております。

純資産は、配当金の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.7%から52.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月13日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,858	23,827
受取手形及び売掛金	20,072	16,795
たな卸資産	7,479	10,754
繰延税金資産	1,353	1,333
その他	1,037	1,058
貸倒引当金	△16	△12
流動資産合計	56,785	53,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,898	10,054
土地	5,398	5,395
その他	2,209	2,307
減価償却累計額	△7,334	△7,438
有形固定資産合計	10,172	10,318
無形固定資産	1,856	1,093
投資その他の資産		
投資有価証券	2,485	3,717
その他	1,340	1,302
貸倒引当金	△279	△268
投資その他の資産合計	3,547	4,751
固定資産合計	15,575	16,163
資産合計	72,361	69,920

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,586	16,551
未払法人税等	1,967	639
前受金	3,322	5,770
賞与引当金	1,317	715
完成工事補償引当金	67	56
工事損失引当金	64	65
その他の引当金	6	134
その他	4,825	2,915
流動負債合計	31,158	26,849
固定負債		
退職給付に係る負債	4,858	4,831
その他の引当金	122	155
その他	953	1,049
固定負債合計	5,934	6,036
負債合計	37,093	32,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	22,249	23,698
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	34,516	35,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547	759
土地再評価差額金	520	520
為替換算調整勘定	126	140
退職給付に係る調整累計額	△442	△370
その他の包括利益累計額合計	751	1,049
非支配株主持分	—	19
純資産合計	35,268	37,034
負債純資産合計	72,361	69,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	81,970	77,903
売上原価	65,486	62,328
売上総利益	16,483	15,574
販売費及び一般管理費	10,606	10,343
営業利益	5,877	5,230
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	30	26
仕入割引	68	66
受取保険金	—	56
その他	71	29
営業外収益合計	173	184
営業外費用		
支払利息	1	2
為替差損	—	6
その他	0	3
営業外費用合計	1	13
経常利益	6,049	5,401
特別利益		
固定資産売却益	1	0
関係会社株式交換益	—	14
特別利益合計	1	15
特別損失		
固定資産除売却損	2	33
投資有価証券評価損	—	2
ゴルフ会員権評価損	12	5
事業構造改善費用	—	437
特別損失合計	14	477
税金等調整前四半期純利益	6,036	4,939
法人税等	2,058	1,256
四半期純利益	3,978	3,683
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,978	3,674

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日）
四半期純利益	3,978	3,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	211
為替換算調整勘定	△124	13
土地再評価差額金	12	—
退職給付に係る調整額	49	71
その他の包括利益合計	107	297
四半期包括利益	4,085	3,981
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,085	3,972
非支配株主に係る四半期包括利益	—	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,057	1,913	81,970	—	81,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	16	45	△45	—
計	80,086	1,929	82,015	△45	81,970
セグメント利益	5,737	188	5,925	△48	5,877

(注) 1 セグメント利益の調整額△48百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,748	2,154	77,903	—	77,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	14	18	△18	—
計	75,752	2,169	77,921	△18	77,903
セグメント利益	5,088	186	5,274	△43	5,230

(注) 1 セグメント利益の調整額△43百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. 補足情報

(1) セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	30,117	28,922
百貨店・量販店市場	3,706	4,757
複合商業施設市場	8,309	10,391
広報・販売促進市場	13,165	14,162
博物館・美術館市場	5,359	5,832
余暇施設市場	7,395	5,709
博覧会・イベント市場	736	397
その他市場	13,096	10,542
ディスプレイ事業 小計	81,886	80,715
(飲食・物販事業)	—	—
合計	81,886	80,715

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	受注高(百万円)	受注残高(百万円)	受注高(百万円)	受注残高(百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	31,412	11,920	27,009	8,745
百貨店・量販店市場	3,689	927	4,982	2,014
複合商業施設市場	11,034	7,451	8,044	4,203
広報・販売促進市場	14,152	4,831	17,265	7,004
博物館・美術館市場	7,525	7,610	9,135	9,383
余暇施設市場	7,466	3,648	7,361	5,083
博覧会・イベント市場	908	412	427	326
その他市場	12,303	5,217	9,982	6,882
ディスプレイ事業 小計	88,492	42,019	84,208	43,644
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	88,492	42,019	84,208	43,644

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	売上高(百万円)	売上高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	29,222	27,985
百貨店・量販店市場	3,689	3,902
複合商業施設市場	8,084	10,293
広報・販売促進市場	12,615	13,165
博物館・美術館市場	5,898	5,480
余暇施設市場	7,143	5,403
博覧会・イベント市場	1,170	338
その他市場	12,233	9,180
ディスプレイ事業 小計	80,057	75,748
(飲食・物販事業)	1,913	2,154
合計	81,970	77,903

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	35,502	34,272
展示制作	19,481	20,929
環境演出制作	4,536	4,005
販促品制作	355	535
企画・設計・監理	7,422	6,559
その他	14,587	14,411
ディスプレイ事業 小計	81,886	80,715
(飲食・物販事業)	—	—
合計	81,886	80,715

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	39,015	19,032	33,846	16,709
展示制作	21,079	9,733	26,983	15,918
環境演出制作	4,622	2,153	3,970	1,511
販促品制作	326	50	484	123
企画・設計・監理	7,887	6,324	6,616	5,606
その他	15,561	4,725	12,306	3,774
ディスプレイ事業 小計	88,492	42,019	84,208	43,644
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	88,492	42,019	84,208	43,644

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	34,535	33,692
展示制作	19,423	19,138
環境演出制作	4,361	3,851
販促品制作	322	569
企画・設計・監理	6,580	5,683
その他	14,833	12,812
ディスプレイ事業 小計	80,057	75,748
(飲食・物販事業)	1,913	2,154
合計	81,970	77,903

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。